



# 校長室の窓から

《校長だより》

神奈川県立市ケ尾高等学校

校長 増淵 広美

平成 27 年 8 月 25 日

第 5 号

## 「あとみよそわか」～省みる、徹底する、責任を持って全うする～

「あとみよそわか」——私がこの言葉に出会ったのは高校生の時でした。すっかり記憶から遠ざかっていましたが、最近ある本を読んでいてこの言葉に再び巡り会い、この言葉と出会った『父・こんなこと』（幸田 文 著）という本が無性に読みたくなり、書棚から探し出し、ページが茶褐色に古びた文庫本を懐かしく読み返しました。

幸田文は、高校生なら誰でも知っている（はずの）明治の文豪、幸田露伴の娘で、8歳の時に生母を失い、継母との仲もうまくいっていなかったことから、14歳から18歳頃まで、本来なら母親から教えられるはずであろうことを父親の露伴から徹底的に躰けられます。露伴は物識りで有名だったようですが、兄弟の多い貧困の中に育ち、朝晩の掃除は言うまでもなく、家事全般を経験の中できとことん身につけ、「格物致知」が信条。『父・こんなこと』の中の「あとみよそわか」と題する随筆では、父、露伴の厳しく徹底した掃除の躰ぶりに多くのページが割かれています。

文が14歳、女学校1年生の夏休みに本格的な掃除の稽古が始まります。まずははたきのしつらえ、箒の癖直しから始まり、掃除の順番、はたきのかけ方、箒の使い方、雑巾のかけ方にいたるまで、露伴が事細かに伝授します。そして、露伴から「梯子段は一段一段あがらなくちゃならない。二段も三段も跨ぐことは無理だ。」と言われ、拭き掃除はお預け、当分の間は掃き掃除に専念することとなったある日、文がいつものように掃除の終わりに「ありがとうございました」とお礼を言って立ち上がり、歩きかけると、露伴が「あとみよそわか」と唱え、振り返った文に「もういいと思ってからももう一度よく、呪文を唱えて見るんだ」と教えます。自らも実践しているであろう言葉で、掃除に限らず、物事への向き合い方、延いては生き方そのものをもわが子に伝えたかったのだと思います。自らの行いを省みる、物事を徹底する、自らの行いに責任を持って全うする、そんなことを考えさせてくれる言葉との再会でした。

## 活動しやすい環境 気持ちのよい環境をつくる

### ◆◆グラウンドに照明を設置

念願のグラウンド照明が、同窓会の寄付により、予定通り8月上旬に設置されました。今回設置したのはLEDの照明2灯。日の短い季節の練習に威力を発揮することと思います。同窓会の皆様に心から感謝申し上げます。

### ◆◆環境を整備する

昭和49年開校（創立42年目）の校舎は、丁寧に使われてはいますが老朽化が目立ちます。だからこそ環境整備が必要ですが、予算には限りがあります。その中で、今年度は、年度当初に一斉点検を行い、修繕が必要な箇所を早期に把握し、計画的に修繕を進めています。また、昨年度に引き続き、同窓会の寄付を受け、一部のトイレ改修を行うほか、グラウンドの他にテニスコートにもLEDの照明を設置する予定です。ハンドボールコートは電源の関係もあり照明設置には至りませんが、新しいゴールをすでに発注しています。県立高校は予算的には厳しい面もありますが、工夫しながら少しでもよい環境を整備していきたいと考えています。

### ◆◆たかが掃除 されど掃除

環境整備はハード面だけではなく、生徒一人ひとりの意識がとても大切です。校舎や器物を丁寧に扱うのは勿

論、気持ちのよい環境をつくり出すには、皆さんの理解と協力が必要です。同じ年数の校舎でも、心を込め、感謝の気持ちを持って使っている校舎と無頓着に使う校舎とでは、傷み具合も学校全体の雰囲気もまるで変わってきます。気持ちのよい環境は心を豊かにし、豊かな心はさらにより環境づくり出します。そこで大切なのが掃除。隅々まで心の行き届いた掃除は、好循環を生み出します。掃除はいくらでもやりようがあり、実に奥が深く、それだけにやりがいのあるものです。

### ◆◆掃除をとおして「心を磨く」

全国の小中学校の中には、児童生徒の心の成長を育むために、清掃活動に熱心に取り組んでいる学校がたくさんあります。市高生の中にも、そういう学校でみっちり「掃除の極意」を身につけた人もいます。本校でも集中して黙々と掃除をしている生徒の姿をよく見かけます。「集中」の次は、「気づき」と「気働き」。仲間を心を汲みながら、自ら考え、自らやることを見つけ出し、徹底した掃除ができるようになれば、掃除だけではなく、何事にも意欲を持って主体的に取り組めるようになり、それは社会に出てからも「強み」です。

掃除は、意識を高め、心を磨く格好の取組です。



## ● 第1回学校説明会 ～来場者 2,016名～

8月13日（木）、青葉公会堂で今年度の第1回学校説明会を開催しました。約1時間の説明会を午前、午後各2回、計4回行いましたが、午前中はいずれの回も約600名のホールが満席。来場者は午前、午後合わせて2,016名。天候が気にかかる中、ご来場くださった多くの中학생・保護者の皆様に心からお礼申し上げます。

当日は、生徒会本部役員、野球部、ダンス部の生徒が、受付から司会、パフォーマンスにいたるまでエネルギーに活躍。野球部による制服・体育着の紹介や部活動紹介では、そのコミカルな動きに真剣な面持ちの来場者から思わず笑みがこぼれ、ダンス部の演技が説明会に華を添えてくれました。アンケートでも生き生きとした市高生の姿にたくさんのお褒めの言葉をいただきました。協力してくれた生徒の皆さん、どうもありがとうございました。

## PTA校内美化ボランティア ～生徒ロッカー修理～

8月1日(土)の午後、PTAの校内美化ボランティアの皆さんが、生徒ロッカーを修理してくださいました。当日は、10名の保護者の皆さんが「My 道具箱」を持参して参加。校長、教頭も参加しました。

本校の生徒ロッカーは、創立30周年記念に同窓会から贈られたもので、教室に作り付けの特注品。教室にぴったりのサイズなので一人分のスペースが広く、木製の温もりがあります。しかし、木製のため、扉が開けにくくなったり、外れたりしているものもあり、今回、PTA会長の呼びかけで、ロッカー修理が実現しました。当初、事前調査で挙げられた15教室30か所の修理を予定していましたが、各教室のロッカーを再チェックすると修理箇所が倍に増え、この日は7教室30か所の修理を終えました。暑期中、夕方までかかっていた作業となりましたが、懸念だったロッカーの修理が一気に進みました。保護者ボランティアの皆様のご熱意とご厚意に心から感謝申し上げます。

生徒の皆さんも、感謝を込めて大切に使うことができることと思います。



木が弱っている部分は補強してから取り付けます

## キャリアサポーターをお迎えします

「キャリアサポーター」とは、将来のキャリア形成を視野に入れた進路実現のサポーター。県の事業として認められ、8月25日(火)から来年の3月まで、水曜日を除く週4日、進路公開室で皆さんの進路相談や志望書類の書き方、面接の練習などを支援していただきます。

今回お迎えするキャリアサポーターは、長年、美容専門学校の教員、エステティック講師として美容を追究する中でメンタルケアの大切さに至り、心理セラピストとしての研鑽を積み、現在は、キャリア・コンサルティング技能士(国家資格)としてトータルライフキャリア、キャリアプランニングの分野を中心に活躍されています。貴重な機会です。まずは、進路公開室に是非立ち寄ってみてください。

詳しくは、各クラスに掲示するキャリアサポーターのリーフレットにて。

## 試合の応援に行ってきました

### ■7月26日(日) サッカー(全国高校サッカー県1次予選)

気温が35℃を超える猛暑の中、2次予選進出を賭けた1次予選のブロック決勝戦が、座間総合高校で行われました。本校サイドは100名を超える大応援団。さすが! 結束の固い市高です。対戦相手は二宮高校。前半は、互いに守備が固く、チャンスがなかなかゴールにつながりませんでしたが、後半、その均衡を破って本校が先制のゴール。しかし、終盤の二宮高校の同点シュートで延長戦に突入。延長戦の前半、二宮高校が2点を先取。本校もシュートのチャンスを何回も作り力闘しましたが、1:3で惜敗。試合終了後、炎天下での本校サッカー部員の健闘に、応援席から大きな拍手が送られました。



力の拮抗した試合でしたが、本校生徒が巧みにボールを運びます。

### ■7月27日(月): 吹奏楽部(横浜吹奏楽コンクール)

今回は5年ぶりのA部門(上限55名まで)での出場。A部門では、B部門(上限30名まで)にはない課題曲があり、自由曲と合わせて12分の演奏となります(B部門は7分)。本校の演奏曲は、課題曲が「天空の旅—吹奏楽のための譚詩—」、自由曲が「シンフォニア V ~宗教曲と世俗曲のコラージュ」。放課後の練習は勿論、朝練や休日練習など練習を重ねて本番に臨みましたが、A部門の壁は厚く銅賞。B部門では経験できない大編成での経験、醍醐味を必ず次につなげてくれることと思います。

### ■8月5日(水): ダンス部(日本高校ダンス部選手権地区予選)

3年連続決勝(全国大会)進出を目指し、神奈川県民ホールで開催された関東・甲信越地区大会のビッグクラス(10名以上)に出場しました。本校ダンス部は総勢43名(2年生)。今年のテーマは「かき氷」です。

ダンスの猛練習はもとより、構成、曲編集、振付、タツト、衣装の各パートに分かれて研究を重ね、部活の開始時と終了時には必ずミーティングを行って共通理解を深め、万全を期して大会に臨みました。決勝大会に進出できるのは36チーム中上位8チーム。本校ダンス部は、息の合った躍動感と笑顔あふれる演技で見事決勝進出! かき氷をイメージした衣装もプラカードもとても舞台映えがして素敵でした。



地区予選演技後の集合写真。手ごたえのある演技に満面の笑顔。

### ■8月18日(火): ダンス部(日本高校ダンス部選手権全国決勝大会)

会場は、パシフィコ横浜(国立大ホール)。会場が大きいだけに、ダイナミックな演技が求められます。お化粧もさらに工夫してインパクトを高め、演技も地区予選にもましてキレがよく、ジャンプもきれいに決まりました。しかし、全国大会はさすがに強豪揃い。残念ながら入賞にはいたりませんでした。全国大会という大舞台に向けて、部員全員で協力してアイデアや力を出し合い一つのものをつくり上げた経験、そして、出場した者にしかわからない本番での経験は、今後のまたとない励みになることと思います。さらなる飛躍を!

コンクールでは、演奏中、演技中の写真撮影が禁じられているため、写真を掲載できないのが残念です。